

1 基本情報							
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要					
多摩部の公園グループ		（指定管理者名） 西武・多摩部の公園パートナーズ （団体の概要） 代表者：西武造園株式会社 構成員：西武緑化管理株式会社、NPO法人NPObirth 一般社団法人防災教育普及協会					
指定期間							
H28.4.1 ～ R5.3.31（7年間）							
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
陵南公園 小宮公園 滝山公園 大戸緑地		令和3年度		令和2年度			
		金額		金額			
		収入計		239,050	238,394	公園別支出額	
		内 指定管理料		239,050	238,394	陵南公園	85,916
		利用料金				小宮公園	110,204
支出計		220,141	216,295	滝山公園	6,164		
収支差		18,909	22,099	大戸緑地	17,858		
4 管理運営の概要							
前年度の「地域連携でコロナ禍を乗り越える」取組みが評価され都市公園等コンクールで「国土交通大臣賞」受賞。今年度はさらに多様な連携により、各公園特性を活かす事業を推進。八王子市観光課、子育て支援課など多様な主体との共催イベントは、公園だけではできない内容の充実、動員を実現。事業計画のトップの「地域を輝かせる公園」を、管理6年目にして実現。417本出たナラ枯れは迅速な調査で被害を把握、安全最優先で計画的処置。最低限の園路閉鎖等で効率的に予算執行。							
5 管理状況（維持管理）							
【1.適切な維持管理を行うための取組み】全公園で専門家による定期施設点検、パークスキャン、樹木の一斉点検、樹木医による診断を実施。問題の早期発見に努めた。また「パークモニタリングアプリ」を活用し、過去作業、問題個所をデータベース化して計画的に対処。施設の安全確保、長寿命化を実現。デジタルデータ予防保全システムを確立した。陵南公園ではデータベースをもとに、展望広場らせん階段の木部交換による長寿命化を実施。小宮公園では同じく10月から3月にかけて園路整備を継続し、常に歩きやすい園路の提供に努めた。滝山公園では築城500年を迎え、遺構を見せる維持管理を継続し魅力向上につなげた。大戸緑地では老朽化したはず池の改修作業を実施。池内の杭をすべての交換、池周辺の林床整備を行い、生物多様性の向上と新たな見所作りにつなげた。また、パークスキャンにより指摘を受けた箇所の中で案内看板の再塗装を実施。 【2.事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応】大量発生したナラ枯れに対し、計7回の被害調査を実施。4公園計400本以上の被害木の中で園路付近の木を優先処理し安全な園路提供につなげた。陵南公園では、全体に凹凸が酷かったさくら広場北側園路改修を実施。また新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部施設を利用制限。トイレに手洗い洗剤の常備、サービスセンター内に手指消毒剤、空気清浄機等を配備。また、スタッフが罹患した場合等の対処マニュアル、清掃の細分化と役割分担も整備した。大戸緑地では、利用頻度の高い広場の法肩40mの木柵を設置。転落事故を未然に防ぐ安全安心な園内環境を整備した。 【3.要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組み】利用者や近隣住民から広く意見を収集し、PDCAにより迅速、適切に処置。維持管理に対する要望37件全て対応または計画済み。またオリンピック・パラリンピックに向けた取組として、ユニバーサルサービスの向上の一環として全公園で点字パンフレットを作成。陵南公園では、多世代が利用する健康遊具の改修を実施。高齢の利用者から平均台の歩行部の幅を広げてほしいという声は複数あり、遊具メーカーと協議し、現在の構造で安全面が確保できる10cm幅（変更前6.5cm）に歩行部幅を変更した。小宮公園では、各園路のがたつき、段差解消を計60箇所以上実施や、滑りやすい園路へ景観を崩さない滑りにくい塗料で塗装し、感謝の声を多数いただいた。大戸緑地では、「だれでも里山コース」の計画地に桜、かえで類などの植樹を実施。里山の自然を身近に触れ合える環境づくりができた。 【4.丘陵地特性をふまえた植生管理】陵南公園では、ばったランド管理計画を更新。周辺部と連続させ景観と保全の両立を目指す。小宮公園では、ボランティア協働の保全地更新。ハンノキ再生地を新たに2箇所設け60株の挿し木を移植。全公園241本のナラ枯れを利用者の安全を優先する計画的伐採で閉鎖箇所を最小限に抑えた。							
6 利用者アンケート結果							
実施方法：							
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応		
陵南公園	4.6	4.4	4.5	4.5	4.6		
小宮公園	4.7	4.5	4.6	4.5	4.7		
滝山公園	4.6	4.5	4.7	4.4	4.8		
大戸緑地	4.5	4.4	4.6	4.6	4.7		
7 入園者数の状況（単位：人）							
施設名	当該年度	分析					
陵南公園	277,953	冬季の利用者数が昨年より減少したが、春の花見利用者と秋の地域イベント「八王子いちよう祭り」が開催され利用者が増加し、年間での利用者数に大きな変化は見られなかった。11月からは感染症予防対策を実施した上で「秋空ガーデンマルシェ」を初開催、また定番のイベントである「太極拳で健康作り体操」も再開した。公園でのイベント再開や健康づくりの需要により多数の参加があった。					
小宮公園	289,485	昨年度と比較すると、利用者数は前半は増加、後半は減少、年間では大きな変化は見られなかった。団体等の利用は、新型コロナウイルスに関する制限の影響もあり減少した。しかしながら、新型コロナウイルス対策により安心して利用していただけの施設を維持した雑木林ホールの利用者数は、2割以上増加した。また、子育て世代を引き込むイベントや引きこもりがちな高齢者対象イベント、非接触セルフイベントなどが昨年度に引続き大変好評であった。秋には大型イベント「冬＊カフェDay」を開催し、昨年度比2倍以上の参加があり大変賑わいを見せた。					
滝山公園	54,437	緊急事態宣言により、前半はイベント開催ができなかったことなどが影響し利用者数が減少したものの、解除後は地域連携の強化によりwithコロナ対応の新規イベント「滝山城カフェ」や「忍者になって滝山城跡をたのしもう！」を開催し、歴史ファンのみならず、ファミリー層の利用者が激増した。さらに築城500年を盛り上げる、非接触型セルフイベント「滝山城ワードラリー」を今年も開催し、昨年の倍の1000人の動員に成功した。					
大戸緑地	2,408	コロナ禍昨年度は開放空間を求めて利用者が増加。今年度もハイキング利用者、近隣住民の日常的な散歩やウォーキングなど日々の健康増進を目的に来園され、利用者数に大きな変化は見られなかった。今年度は大戸緑地の10周年であったが、新型コロナウイルスの影響により規模縮小、分散開催、セルフプログラムの充実など感染症対策を徹底し、工夫を凝らして実施した。また、町田市生涯学習センターに協力し「まちだ市民大学HATS『多摩丘陵の自然入門』」でのガイドウォークや、大戸源流森の会と共に近隣保育園の園外活動や学生ボランティアの活動受入などを実施した。で公園利用ニーズが高まり、初めて利用する方が増加。アクセス案内を充実させ対応できた					
合計	624,283						

都立陵南公園

＜目標と取組方針(陵南公園マネジメントプランより)＞

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園



【所在地】八王子市
【開園面積】5.9ha



3-②No.3,11,12,14,40,47,49,60,61,65,69
16No.20,22,23,24,31

地域連携のwithコロナが評価され、国土交通大臣賞受賞！

1

さらに新たな事業や連携で、ヘルシーパークを充実、発展！

With
コロナ

コロナ禍で浮き彫りになった健康への不安に対して、14種の多彩なプログラムで応えた！

●心のヘルシー

7種のガーデン
プログラム！



ガーデニングDAY「土づくりの基本」の参加者みんなで！

■ 地域住民が交流するガーデンプログラム

**「ガーデニングDAY」「ボランティアDAY」で、
コロナ禍でも癒しの空間づくり！**

「土づくりの基本」「夏のお手入れ」「花壇の植栽」「ハーブ活用」「ちよいボラ」「花壇デザインワーク」「ガーデンクラフト」など、7種のプログラムを展開。地域住民の交流を促し、花壇づくりを通して、心の健康を支える癒しの場を提供！

■ 地域の協力で大人気の新ガーデンプログラム

「秋空ガーデンマルシェ」初開催！

おしゃれなガーデンマルシェが大盛況で
公園から元気を発信！



のべ参加者
621人！

生花や雑貨が並ぶ
地元人気フラワー作家の店



かわいい地元のキッチンカーに長蛇の列

●身体のヘルシー

7種のスポーツ
プログラム！

■ 多世代に向けたスポーツプログラム

コロナ禍での分散開催「夏休みSPORTS WEEK」

保健福祉施設と共催「ウォーキング教室」初開催！

「はらっパスポーツ」「青空ヨガ」「ヨーヨー＆コマ」「ウォーキング」「親子ボール遊び」「笑いヨガ」「ヘルシーパークショップ」など、7種のスポーツプログラムを実施。子供から高齢者まで、多世代がのびのび身体を動かし健康促進！



申込殺到！
満員御礼！

近隣の東浅川保健福祉センターと初共催による「ウォーキング教室」

■ 健康遊具というポテンシャルに光を当てる！

「ヘルシーサポートシート」を新規発行！

セルフガイドシートが新たな利用を促進！近隣の高齢者施設からの好評の声を受け、新たな連携のきっかけに！



表面はマップ、裏面は初心者向けの活用ガイド



初
のべ配布枚数
2,000枚！

セルフガイドがきっかけで
地域の高齢者施設と
新たな連携が誕生！

公園はみんなが元気と笑顔になれる場所！



おしゃれなマルシェに家族で参加



ガーデニングDAYで土づくりを実践



グッズ配布で東京2020の機運醸成



「親子ボール遊び教室」満員御礼！



こもれびの下で親子一緒に「青空ヨガ」

生きものも利用しやすい公園へ！

2 公園と地域の自然を繋ぐ、生きもの達のヘルシーパーク！

生態系のヘルシー

R3年度の取組み

H30年度
 ばったランドを計画し新設
 東京都レッドデータ絶滅危惧種VU
 ショウリョウバッタモドキを誘致目
 標種に選定

▼

H31年度 (R1年度)
 調査でショウリョウバッタモドキを1個
 体確認し定着を期待

▼

R2年度
 公園隣接地の南浅川法面の草地で
 生息を確認

■南浅川法面の草刈り作業では、**事前に管理者である八王子市に刈り残しエリアを設けてもらうよう調整し、初めて自治体と連携した保全活動が実現！**これにより公園のばったランドとの**エコロジカルネットワークを形成し、昨年度確認できなかったショウリョウバッタモドキを確認！**公園と地域の自然を繋げ、**地域全体の生態系に配慮したヘルシーパークを実現！**



環境教育として総合学習やイベントでも取り組みを紹介！



3-②No.15,64,66 / 16No.23,30

親子で保全活動体験！ 3-②No.48 ③No.51,56,57,60 / 16No.6

3 かえる救出ボランティアを初実施！

■毎年パークレンジャーが行っている、カエルの卵塊とオタマジャクシの保護作業をボランティアとして初募集。親子で一緒に**保全活動を体験！**レンジャーが子どもたちに地域の自然を守る大切さを伝え、学ぶ場を提供。**生態系のヘルシーに貢献！**



3-③No.2,5,44 / 16No.2

4 愛犬のマナーも地域防災も、動画配信で普及啓発！



■犬のマナーアップキャンペーンでは、**愛犬とお散歩を楽しむポイントと利用マナーを動画で伝えて、みんなが気持ちよく利用できる公園に！**



■サバイバルプログラムでは、地域消防団と自治体の防災課の協力のもと、南浅川氾濫時の備えを伝える内容で、**地域防災力UP！**

3-②No.3,36,39,67,68 / 16No.23

5 景観と長寿命化を融合した施設改修！



■らせん階段の木部交換にJIS規格に適合した保存処理方法を用いた木材を使用

■木の風合いを活かせる保護塗料を使用して、景観にマッチした明るい仕上がりに！

■今年度、改修したパークモニタリングアプリから要望を抽出し即時計画、対応！

6 学生、保育士とともに考え、親子プログラムを実現！



■地域イベントでは、**学生の「あったらいいな」の企画提案を受け、協働で実現し運営。**学生手づくりの周遊ラリーに**のべ515人**が参加！

■市の保育士や地域のインストラクターとともに、**コロナ禍で悩める親子に、楽しむ場を提供。**手作りのプログラムに**のべ333人**が参加！

7 マイクロツーリズムのニーズに応える！



■パークライフマガジン「たまぼん02号」発行！前年作成の周遊マップと連動し、小宮公園へとつながる「浅川ゆったりロード」の魅力を紹介。

■地域の有識者による「歴史勉強会」全スタッフが周辺の歴史資源を学び知識向上。学びを活かし、周辺にある歴史情報を発信！

その他の取組み

- ・キツネノカミソリ300球を協働で移植し、見どころ創出！
- ・全自動芝刈機の継続運用により品質の高い野球場を提供
- ・さくら広場北側園路改修で安全に散歩できる環境を整備
- ・ホームページ改修で広報ツールを充実
- など

都立小宮公園

- <目標と取組方針(小宮公園マネジメントプランより)>
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
 - ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
 - ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
 - ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園



【所在地】八王子市
【開園面積】25.1ha



3-②No.2,3,7,13,14,15,42,49,57,64,69,84

3-③No.16,17,30,40,63 / 16No.2,3,13,16,24,30

地域連携のwithコロナが評価され、国土交通大臣賞受賞！

1

さらに多様な連携を実現！
遊べる、学べる、元気になれる公園が充実、発展！



子育て世代を引き込むイベントで公園のイメージを一新！

■地域のニーズを反映したおしゃれなカフェ

『冬＊カフェDay』を新たな地域連携で開催！昨年比2倍以上の1,790人動員！

万全のwithコロナで、安心なイベントを実現！



ゆったりとした、カフェの会場でディスタンス確保

徹底したコロナ対策で、安全安心に過ごせる公園のイメージが浸透。アンケートでは参加満足度・対応満足度ともに100%達成！

■健康と防災をかけたプログラム
『健康教室×防災』で高齢者が
安心して暮らせる地域へ

高齢者にしっかり寄り添う公園へ！



のべ76人参加！

地元医療会社がAIを使って数値を解説 ミズノの講師により正しい歩き方で公園をウォーキング

市の高齢者あんしん相談センターや地域の医療関係機関と初開催。コロナで家にこもりがちな高齢者の健康維持・増進のため、健康相談とウォーキングイベントを実施！

新たな団体との連携、新たな企画でイベントの魅力UP！



木をロープでつないで、自然の遊び場へ

管理で発生した木を使った薪割り体験

どんぶりやススキで、でんでん太鼓作り

定番のハンモックは、各日大人気！

パークコーディネーターが調整し、活動の場を求める地域団体と新たに連携。冒険遊び場の会や地域のクラフト作家らの参加により、新コーナーが続々登場しイベントの魅力がUP！

■子育てサポートプログラム
『青空ひろば・ぼうけんの森』
自然の中で、子育て不安解消

子育てお母さん全カサポート！



のべ135人参加！

密を気にせず、広い公園広場で遊ぶ未就学児とその保護者

市子ども家庭部と共催し、未就園児とその親への野外遊びと子育て相談を毎月実施。パークレンジャーによる環境教育と子育て相談が子育て世代に大人気！

2 オンライン、セルフガイド withコロナの環境教育がさらに進化



毎日、来園者が立ち止まって読み込む100の回答掲示板



■公園の自然と子どもたちを繋ぐオンライン環境教育！
投書やWEBなど多様な手段でパークレンジャーが子どもの興味約100問すべてに回答。ホール前の回答掲示板は子どもだけでなく多世代の来園者の注目の的に！

■セルフガイドシートは新規24種含む53種展開！コロナ禍でも季節を楽しめるプログラムは公園利用の促進に貢献。パークレンジャーが家でも楽しめる動画を6種HPで公開し、人と自然を繋ぎ続けた！

3-②No.2,3,13,14,49 / 3-③No.45,47,50,51,52,58 / 16No.16,22

3 エコロジカルネットワーク事業で園内絶滅種ヤマアカガエル復活！！



公園内の池(共有地)
28卵塊産卵！！



昭和50年以前から
絶滅していた種の復活

■里山生態系の生物多様性が大きく向上
地域のナチュラリストより、地域遺伝子のヤマアカガエルの卵をもらい受け、公園内ビオトープで飼育を開始して3年。公園内の地域共有池で初の産卵確認

■保護の手法も進化！
園内ビオトープにアライグマ除けの金属メッシュを新たに10m取付け万全の保護体制を確立。園内2か所に危険分散して幼生を育成

3-②No.2,3,15,64 / 3-③No.17,27 / 16No.13

4 マイクロツーリズムを支える維持管理

3-③No.1,2,7,9,10,20,35,44,64,65 / 16No.4,5

小宮の未道風景は
東京の尾瀬



■常に歩きやすい園路を提供！
新設置された木道が「滑りやすい」との意見を受け、環境に優しい滑り止め剤を塗布。「歩きやすくなった」と感謝の声をいただいた。また、土系園路には、月に一度、麻布や園内発生材を利用したチップを敷設。毎日の確認で安全で歩きやすい園路を提供



■60本のナラ枯れを計画的に処理！
ナラ枯れ被害が拡大し始めた5月から毎月調査を実施。最小限エリアを立入禁止にしながら計画的に主要園路を中心に被害木を処理。決められた予算で利用者の安全確保を実現
また、ナラ枯れ被害後の植生再生の講習会を他公園グループと共同開催。最新の知見に基づく対策を検討

5 地域の人に広域避難場所としての公園をしっかりとアピール！



■八王子市防災課と連携、避難場所を紹介する防災クイズラリーを実施
■町会と協力し広域避難場所(公園)への案内掲示を民家の塀など6箇所設置
■イベント「そなえパーク」で防災クイズ実施。楽しく学べる防災を提供
■八王子市防災課の協力を得て、公園の取組みを紹介する動画「公園と一緒に地震にそなえよう」をHPで公開

その他の取組み

- ・近隣小学校の総合学習受け入れ500人以上
- ・園内制札板の更新を早め、野草の盗掘、野鳥観察でのトラブルを未然防止。
- ・周遊マップ、たまぼん大人気で増版、公園中心のマイクロツーリズムで地域の魅力を発信。

都立滝山公園

<目標と取組方針(滝山公園マネジメントプランより)>

- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

【所在地】八王子市
【開園面積】31.2ha



3-②No.2,3,4,10,13,14,32,38,45,49,56,69,75,85
3-③No.7,16,45,63 / 16No.23,30

地域連携 のwithコロナが評価され、国土交通大臣賞受賞！

1 さらに新規イベント多数開催、築城500年を盛り上げる！

築城500
地域共催 With
コロナ

12団体からなる観光まちおこし実行委員会との共催で利用者層トップが70歳代→30歳代に劇的に変化！



イベント満足度
100%！

最後の修行場、本丸にて参加者とミズノ忍者で記念写真



貸出マットを使って家族でカフェを満喫



中の丸の会場の様子



千量数で輪に手裏剣を通す修行



レンジャーの扮する仙人が自然解説



今までにない多彩なキッチンカーが並ぶ



約1,000人
参加！

カフェをつくりあげた歴史NPOとスタッフ

■遺構を活かして初スポーツプログラム

体作り、運動発育に大切な36の多様な動きを体得するミズノスポーツの人気イベント「忍者学校」と、レンジャーがコラボし、動物たちの身体能力を解説。遺構を巡りながら展開する楽しい忍者修行に、満足度100%！

■中世山城跡が山城カフェへ変身！

「すべての市民に滝山城500年を知ってほしい！」という実行委員会の願いをおしゃれなカフェで推進。地域のNPOとも連携した歴史ガイドウォークも大好評で約1,000人が参加！ファミリー利用が大きく増加！



見どころを網羅したワードラリーで歴史の冒険へ



見どころ案内とワードラリーがひとつになったシート



歴史を感じる遺構で、初クラフトイベントを堪能



参加者がその場でプロのテクニックを学ぶ

■家族利用を呼び込んだワードラリー、昨年の2倍の1,000人動員！

地域連携により複数管理者にまたがる見どころをワードラリーで繋げることに成功！管理所がない公園でも近隣市民センターとの連携により景品配布を実現し盛り上げた！

■公園美化とクラフトイベントの融合

パークレンジャーによるガイドウォークで滝山城の歴史を学びながら、園内の美化活動！拾った枝やツルでフッシュクラフトに挑戦し、公園の思い出に！

■第一人者指導で公園の魅力を写真に！

「自然の魅力をつかもう！デジカメ講座」を開催！ネイチャーフォトの第一人者、いがりまさし氏を迎え、初心者からハイアマチュアまで大満足！解説にイヤホンマイクやタブレットを初導入し大好評！



2 マイクロツーリズムによる、「地域と繋がる公園利用」を提案



「周遊マップ」



「たまぼん」第一号



最新版「たまぼん」第二号



地域各所に配布！



公園を拠点とした見どころ満載！

■ 大好評につき、多摩部の公園フリーマガジン「たまぼん」第二号発行！

たまぼん第二号は、周囲の人気スポットをつなぐ導線を紹介した周遊マップと連動。公園周辺エリアの見どころスポット、ハイキングルート、を、写真やイラスト付きで紹介！

■ 公園中心のマイクロツーリズムコースを3コース提案

三密を避けた小旅行で、地域の魅力を再発見するきっかけにも！withコロナでも、元気に楽しく、家族や友人と遊べるアイデア満載で、公園の可能性を最大限に引き出す！

3-③No.1,2,7,9,10,13,20,64 / 16No.4

3 「ナラ枯れの計画的かつ迅速な対応」と「遺構を魅せる維持管理」で築城500周年を支えた！



樹木診断で適切な安全確保



築城500地域共催



遺構明確で魅力UP!

■ 500周年を迎えた公園の安全を確保

・イベント開催前に、開催エリアを中心に樹木診断等を実施。危険な枝や樹木を処理し安全で安心なイベント空間を提供
・被害拡大をし始めた5月から12月にかけて毎月被害調査を実施。優先順位を明確化し園路、広場などでナラ枯れ被害木を20本以上を処理。計画的かつ迅速に安全を確保

3-③No.16 / 16No.5,20

■ 山城の遺構のすばらしさを適切な管理でアピール

・「角馬出し」や「空堀」など、北条の山城の特徴を出す草刈りを実施するとともに、発生材を活用したチップを敷き、土園路を滑りにくく整備。景観・安全両面に配慮し、築城500年で訪れる来園者を迎え、満足度アップに繋げた。

3-②8,32 / 3-③No.2,47,64 / 16No.6

4 3R資源活用でイベントの魅力もUP!



敵忍者に見つからないように、落ち葉の山に隠れる様子



不規則に並べられた、丸太の上を飛んで忍者修行

築城500地域共催 初

■ 維持管理での発生材のイベント再利用で、自然を体感！自然いっぱいの公園ならではのイベントを実現！

・公園での発生材を落葉プールやジャンプ台に！落ち葉は数週間前から公園で天地返しをしながら、じっくり乾燥。伐採後に出た木材は5cmの厚さにスライス加工し遊び道具に再利用。「町場の公園ではできないイベントですね！」など参加者から絶賛の声が多く上がった

その他の取組み

- ・ エコロジカルネットワーク事業により、園内絶滅寸前だったアカマツが順調に育成
- ・ 初の試みとなる、ガイドのための限定開園地の管理開始。新たな魅力の発信へ

5 動画作成、ナラ枯れ調査等にドローン活用！



(右)ドローンを飛ばす操縦者



(左)ドローンから撮影した映像。ナラ枯れ箇所がはっきり

築城500地域共催 初

■ ナラ枯れ被害状況、山城の景観をドローンで撮影 インタプリテーションへ活用！

・ドローン調査により、ナラ枯れの被害状況を迅速、面的に把握！さらに、ホームページで公園全体を俯瞰した写真や映像により、自然・文化・歴史についてのオンラインインタプリテーションを実施！

■ 滝山観光まちおこし実行委員会と共催でドローン撮影。城郭研究家のオンラインイベントを実施

- ・ トイレ前のウエルカムプランターが好評

都立大戸緑地

<目標と取組方針(滝山公園マネジメントプランより)>

- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園



【所在地】町田市相原町
【開園面積】28.4ha



地域連携 のwithコロナが評価され、国土交通大臣賞受賞！

3-②No.3,6,32,37,44,48,50,51,52

3-③No.10,16,34,37,44

16No.20,22,23,24

1

さらに地域の協力を得て、開園10周年を共に祝い



前年度の「公園であつたらいいな♪」の^{アイデア}声を実現、さらに魅力的な場所に！

コロナ禍でも思い切り自然体験！多様な体験プログラムを展開



あつたらいいな声 No.1!

回数を前年の4倍増!

のべ参加者数 200人!

のべ参加者数 455人!

■「森のぼうけん遊び」では地域の「冒険遊びの会」と連携し、要望の多い「すべり台」「ブランコ」を公園のリソースを活用して実現！

■「木のぼり教室」では、人数制限・分散開催し、回数を4倍に増やし、多くの人に自然体験の機会を提供！

■「たんけんワードラリー」開催。近隣施設との共催で管理所のない衛星公園でもオリジナルグッズをプレゼント！

■動画を見ながら「竹箸づくり」。自宅で楽しくクラフト体験できる新たな仕組みを作り、資源も有効利用！

10年後を思い地域のみんなと植樹



地域の協力でサクラ4本、里山の樹種7本を植樹!

植樹を体験

多様な方が楽しめる場所に

■都の供給苗と園内苗圃からの移植により、草地広場に桜の見どころと「だれでも里山コース」に四季を感じる樹木の記念植栽をちょいボラと協働で実施！

利用者ニーズに応える！ベンチ・案内板を増強



園内4カ所の見どころに設置した自然解説案内板



利用者の声をしっかりと反映!

■利用者の「エリアの特徴を知りたい…」の声に応じて、**自然解説案内板を4カ所に追加設置!**
2年間で全10カ所の見どころポイントに設置を完了。
さらに好評を受け、協働で**100カ所に樹名札**を追加!

■「自然の中でゆっくり座りたい…」の声に答え、利用頻度の高いエリアに**テーブルベンチを2基追加設置!**
公園十景「ユクノキ」の下で、景観や里山風景を楽しむ場を提供

シンボルツリー「ユクノキ」の魅力がYoutubeで発信!



地域のシンボルツリー 大戸緑地の「ユクノキ」をご紹介します! <前編>

初

周辺樹木の伐採で樹冠の光量を確保! 過去最高の満開!!

「樹木管理ありがとう!」など感謝の声多数!

■3年ぶりの満開で問合せが殺到。緊急事態宣言中で、広域からの来園が難しい状況のため、ドローン撮影を初めて行い、満開の樹冠の様子を地上30mの上空から記録。
花が雪のように白く積もる貴重映像の撮影に成功し、全世界に配信!



大戸緑地の「ユクノキ」を映像でご紹介します!

動画PR用のポスターにはQRコードを表記

美しい景観と多様な生物が息づく池へ

3-②No.14,49 / 3-③No.35,44,51,57 / 16No.2,6

2 はす池の改修・繁茂したガマの除去を行い、池の環境を改善

池内45㎡のガマと雑草を5日間で除去完了！



■ 地元大学の学生ボランティアと公園スタッフでガマの除去を実施！ガマと雑草を根気よく抜き、生物多様性のため2割を残し、8割を除去！



改修後の池の様子

■ 腐食していた池の外周の杭530本を交換。改修により①ガマエリア ②開放水面エリア ③湿地エリアの異なる3つの環境を整備し、環境の多様性ができた

①ガマエリア
モリアオガエルの産卵や草陰などを好む生きものの生育を期待！



モリアオガエル

②開放水面エリア
開放水面の確保で、早くもヤマアカガエルの産卵を初確認！



ヤマアカガエル卵塊

③湿地エリア
田んぼ植物の希少種であるミズニラやミズハコベの生育が期待できる



ミズハコベ

3-②No.5,14,37,38,42,48,49,84 / 16No.20,22,23,24

3-②No.32,42 / 16No.30

3 隣接する教育施設と連携が発展！施設の強みを活かす自然体験

■「自然観察会&絵皿体験」を初開催！

パークレンジャーによる自然解説と、施設内の工芸室での絵皿づくり体験。充実の新しいプログラム！



解説を聞きながらモチーフを探し、絵皿に表現



初

■「森林体験塾」で里山保全とクラフト体験



森林でアクティブに活動した後は、じっくりと自然素材に向き合う

前半は公園で親子で一緒に森林保全活動。後半は施設内で竹細工のクラフト体験。

ポテンシャルを活かす！

3-②No.14,49 / 16No.22

3-③No.48,57 / 16No.24

5 「大戸源流森の会」が「みどりの愛護」功労者表彰を受賞

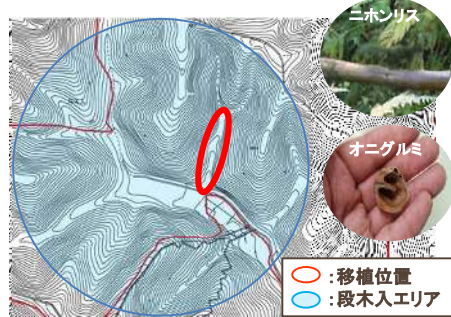


益々やる気を増した会のメンバー

■ 公園イベントへの協力や後継樹育成が評価！メンバーからは「子ども達に公園の魅力を伝えていく！」と今後の活動への意欲が向上！

6 ニホンリスの定着に向けて、目撃情報を解析し、的確な保全へ！

■ 今年度、ニホンリスの目撃情報が増加した段木入エリアに、餌となるオニグルミの実生を移植！ニホンリスが暮らせる森づくり計画を進め、定着に前進！



ニホンリス

オニグルミ

○：移植位置
●：段木入エリア

7 公園と周辺スポットが繋がる！マイクロツーリズムを推進！



■ パークライフマガジン「たまぼん02号」発行！周遊マップと連動し、メジャーな高尾山とつながる豊かな自然を楽しむハイキングコースを紹介。

その他の取組み

- ・利用頻度が高い広場に転落防止柵約40m設置し安全確保
- ・公園十景「カタクリ群生地」の観察ポイントを協働で整備
- ・ナラ枯れ調査で189本を確認、優先度を決め71本の伐採を実施
- ・保全と維持管理で美しい理想的な竹林景観を実現 など